

「健康経営優良法人2026」に認定

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、経済産業省が制度設計し、日本健康会議^{※1}が認定する「健康経営^{※2}優良法人（大規模法人部門）」に、9年連続で認定されました。

「健康経営優良法人認定制度」は、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を認定する制度です。

当社では「2030年ビジョン」において、ESG（環境・社会・ガバナンス）経営の実践として、「従業員の幸せと会社の発展」に取り組んでいます。特に「従業員の健康」を重要課題と位置づけ、社員とその家族の健康寿命の延伸を目指すことなどを示した「健康宣言^{※3}」をベースに、社員が心身ともにいきいきと働くための健康づくり活動^{※4}を健康保険組合とも協力して推進しています。

今後とも健康経営と働き方改革を会社経営の両輪として積極的に推進することで、年輪的成長に向けて取り組んでいきます。

※1 2015年7月、国民の健康寿命延伸と医療費適正化に向けた実効的活動を行うことを目的に経済団体、医療保険者、自治体、医療関係団体などで組織・発足

※2 NPO法人健康経営研究会の登録商標

※3 [「愛知製鋼 健康宣言」](#)

※4 当社の健康づくり活動：

- ①経営計画：中期経営計画に健康に関する取組を明記
- ②メンタルヘルス：ストレスチェック、教育・相談によるメンタル不調の未然防止、復職プランの改善による再発者低減
- ③生活習慣病予防：BMI改善プログラム、eラーニング教育、食堂での健康メニュー提供、若年層への節目年齢健康教育、中・高年層への保健指導
- ④受動喫煙対策：敷地内全面禁煙の実施
- ⑤運動習慣の定着：ウォーキングイベント（健康保険組合と連携）、参加型運動イベント（ヨガなど）

